

Title: 「明日はどっちだ」



徳田 敬太
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べ歩き
好き。世界という大海
へ向け、今、旅立と
うとしています。

●最近のエントリー

- ☞ ハリラヤ・プアワ (2009.09.24)
- ☞ マレーシア 1.9-2 (2009.09.17)
- ☞ マレーシア 1.9-1 (2009.09.17)
- ☞ マレーシア 1.8 (2009.09.17)

●アーカイブ

- ☞ 2011年04月
- ☞ 2011年03月
- ☞ 2011年02月
- ☞ 2011年01月
- ☞ 2010年10月
- ☞ 2010年09月
- ☞ 2010年08月
- ☞ 2010年07月
- ☞ 2010年06月
- ☞ 2010年05月
- ☞ 2010年04月
- ☞ 2010年03月
- ☞ 2010年02月
- ☞ 2010年01月
- ☞ 2009年12月
- ☞ 2009年11月
- ☞ 2009年10月
- ☞ 2009年09月
- ☞ 2009年08月
- ☞ 2009年07月
- ☞ 2009年06月
- ☞ 2009年05月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年02月
- ☞ 2009年01月
- ☞ 2008年12月
- ☞ 2008年11月
- ☞ 2008年10月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年08月
- ☞ 2008年07月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2007年11月
- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年08月
- ☞ 2007年06月
- ☞ 2007年05月
- ☞ 2006年10月
- ☞ 2006年09月
- ☞ 2006年08月
- ☞ 2006年07月
- ☞ 2006年06月
- ☞ 2006年05月
- ☞ 2006年04月
- ☞ 2006年03月

●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



1/25 | 2/0

明日はどっちだ > 2009年09月 アーカイブ

09.09.24

【ハリラヤ・プアサ

マレーシアのラマダン明けのハリラヤ・プアサを体験しにマレーシア半島のまん中らへんのカンボン(村)へ行ってきました。

去年、英語学校のマレー系の先生に「ハリラヤはどこへ行ったら見れますか?？」と聞いたところ「ハリラヤは普通オープンハウスって言って親戚や友人宅を回るんだけど観光客用じゃないだよね。」とかわれ、断念した去年。

しかし、マレーシアの大きなイベントの一つハリラヤを体験せずにマレーシアが語れるか! と思い、誰か招いてくれないかなー。とか思ったり前の英語学校の先生のツテを頼ってみただけどなかなかハプニング的に行ける事にはならないみたいです。しかし、なんとかかんとかしてラマダンが終わる2日前に約束を取り付けることに成功しました。これはおそらく日本で言うところの正月の2日前に外人が、日本の正月が見たいから見せてください。そんなかんじのお願いだっと思います。とても急なお願いだっなのに、ありがとうございます。

と、向かう家がある州がバン州というところなのですが誰に聞いてもその向かうべき住所を知らなかったので州の一番大きな街クアンタンへ。帰省ラッシュと思われたブドゥラヤ・バスステーションから前日チケット買いで出発。途中の高速道路はやはり帰省ラッシュの渋滞でした。



しかし、いざクアンタンに着いてみるとあらら、向かうべき街はジャラントウトゥという街でクアンタンから3時間かかるとのこと。しかもバスの出発が夜8:30。。。もっと調べて出発しなきゃよかった、と思いつつクアンタンの街をぶらぶらしながら時間をつぶしました。



しかし、なんとってもこの日はラマダンディ。ほとんどの飲食店は昼は開いてません。だから中華系の店を探して昼食。

クアンタンにもラマダン期間限定屋台がたくさんありました。





そして、出発の夜 8:30。バス来す。
結局バスに乗れたのは1時間後の9:30。
受け入れ先のおちゃんにも出発した事を告げ
降りしきる雨の中、出発。

到着する少し前、バスの兄ちゃんがCDを変えてと思ったら
アッラ-----ハリラヤ-----。。
みたいのが急に流れ出したからびっくりしました。
ラマダンが終わり、マレーシアのハリラヤ・ブアサの始まりです。

ジェラントウトゥに到着したら、ちゃんと向かえに来てくれていて
一緒に乗ってた西洋人2人は深夜到着に若干不安そうでしたが。
セラマツ・バキ、ラザックさん。
よろしくお願ひします。



訪れたカンポンは「KAMPUNG LADA」日本語で唐辛子の村です。
村を一直線に走るクアンタンへ通じる道路は1999年に整備されて
それ以前はマレーシア半島一長い川を船を使って移動していたらしいです。
ちょっと前の話ですが、信じられませんでした。
でも、家々は川沿いに建っているのが多いし
まだボートが置いてある家がたくさんあったので本当です。

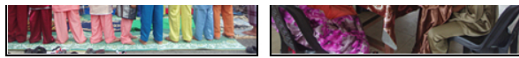




朝8時、父と長男は正装してモスクへハリヤのお祈りをしに行くので
付いて行きましたが母と娘たちは食事の支度やらで忙しい様子でした。
いぎモスクに着いてみると、ほんとにローカルな場所でした。
こんな自分みたいな外国人観光客がいない場所なのでときどきしつ
「写真撮っていいんですか?? めっちゃ見てるんですけど。。」
「大丈夫、大丈夫。 見てるだけだから。」
といった具合だったので安心しましたが
アッラー・アクバル、アッラー・アクバル。。。
やはり、ジロツ、ジロツ。見られますよねソリヤ。

子供たちは大人たちのお祈りをジャマしないようにモスクの一番後ろに座っていて
女たちは白い格好をしていて、あれが正装らしいです。
約30分くらいのお祈りでした。

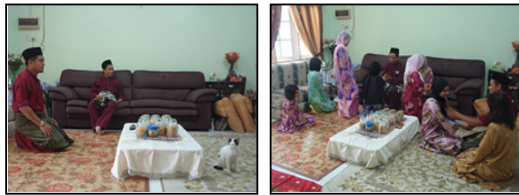




自分もマレーの服を着させてもらいました。
シャツがバジュマラユで、布がサルーンという名前です。



テイタ、これが一家のハリヤだぞ。
とやってはしまったのが
父→母→長男→長男妻→長女・・・と続くあいさつでした。
何を言っているか聞くの忘れましたが
今年の感謝とかどかたと思います。
日本で言うお年玉もあり、小さな封筒に数リングット入ってます。
やはり子供たちは楽しみにしていて各家に訪れた時にもらっていました。



お墓参りをしに行った後は
各家々がオープンハウスしているので
巡るのに同行させてもらいました。
家に行くとき必ずお菓子と、軽食を食べるので
一日中食べっ放しです。
これでは、学生帰ったからダイエット開始計画が全くできなさそうです。

どの家に最初に行って、次はこの家、その次はこの家。。
と訪れる順番も大争なんだと言っていました。





ゴムの木がありました
ハリラヤの期間は働かないので液が溜りにも溜ってませんでした。

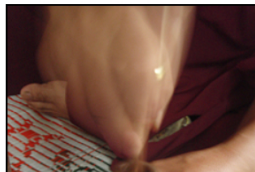


お菓子

シラップ(花の香りを付けたジュース)



インドでもあるような、葉っぱとか実を粉々にして
食後に噛むやつです。独特な味がします。





ラザックさんが、日本軍が来た時に線路を作った人がいるから話を聞きに行こう。と訪れた近所の家。

81歳のオスマン・ビン・マットさん
 1943年8月18日、当時彼が17歳の時に
 突然、日本軍に連れて行かれて線路工事の労働をさせられました。
 他の1000人のマレーシア人と共に、最初5日間の監禁。
 小さな部屋に1000人もいたため寝るスペースもなし、
 食事は白飯に塩味の海魚だった。
 6日目、1000人と共に電車で乗せられて移動開始。
 グマスーKLーイボームアロースタータイに入り、チョンボンーバトゥットウ
 ーバトゥ・スミランプロリマという所へ。
 994人のマレー人、華人とともに労働を開始し
 彼は線路の65km→95kmの30kmを担当。
 なぜか華人たちだけが遙遠りに携わっていたという。
 994人の労働者たちは7つの家に分かれて任んでいたが
 30%は特に医者もいるわけがなかったし、悪い労働環境のため亡くなった。
 幸い彼は一切病気にはならなかったが
 誰かが病気にかかると日本兵が病人をどこかへ連れて行ったらしい。
 それがどこかは誰も知る事はできなかったが。

1945年9月、日本軍は労働者を解放。
 しかし、日本軍からの給料や感謝の言葉一つもない。
 グマスという町で家のあるジェラントウツへ戻る列車を待ったが
 一向に列車が来る気配はない。
 だから7日間かけて歩いて自分の町へと帰った。

日本兵は彼らをたった一度も殴ったり、叩いたりしなかったが、
 覚えていた日本語は「バカヤロー」だった。
 マレーシア政府も、学者も、誰もこの歴史に気を示さなく悲しいため
 もし話を聞きに来たい人がいればいつでも来て良い、と言っていました。
 話を始めるとどんだん日時、大きさ、空気とか
 すごくハッキリと歴史を思い出すのですこかったです。
 ラザックさんも、後数年したらこの話は聞けなくなってしまうから
 どうしたものかと言っていました。

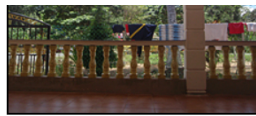


泊まっていた場所は家族が寝ているのではなく
 ちょっと離れた場所に作ったシャレー。
 早朝にニワトリの音が響き渡りますが、夜は静かだし、蚊は出ないし
 すごく、すごくキレイでびっくりしました。



家巡りは続きます。
 ちなみにお菓子は各家の手作りでクエと呼ばれています。





観光客は魚は食べるし見た事あるけど、どっから来るのか知らないだろ！
ここからだよ。と、魚の養殖をしているトコです。
一掴みするだけで数匹とれます。



家訪問は続き、
同時にクエと軽食も食べ続けます。





食後に食べる甘い米



薄くスライスしてかぼ実

ドリアンの花



食べる時水に付けて膨らまして食べるそうです。

と 昔のボート。



スンガイ！！
と喜ぶ声とともに向かった小さい川。
行った時間に他に人はいませんでしたが、
休日の朝とかはすごくたくさんの人が泳ぎにくるらしいです。
気持ちよく泳いでたら筋肉痛になりました。
この身体も弱ったもんです。





夜、どこからともなく聞こえてくる花火を聞いて家の少女たちが始めたのは新聞気球って言うんでしょうか。新聞紙の四つ角をとめて、火を付けるとあらあら、ふらふらと飛びます。が、これがまた成功の頻度が低くて難しいんです。

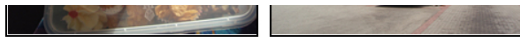


この白いのはご飯です。ホントはハリラヤ1日目しか出さないのですが余るところで食事に出てきます。細い竹にご飯をつめて、昔ながらの方法で作っている家もまだありますが今はスーパーマーケットに茹でるだけのやつが小分けパックで売ってます。



KLへ戻る時にタッパに入ったクエをもらいました。





突然ハリラヤにおじゃまさせてもらって
ホントにありがとうございました。テリマカシ。
みっちりハリラヤを体験できました。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.09.24 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#)

[明日はどっちだ](#) > 2009年09月アーカイブ

09.09.17

マレーシア 19 - 2

藤原くんの掃除っぶりを期待しつつ、高橋さんとともに
3年前、五十嵐先生が行ったマレーシア森林研究所
Forest Research Institute Malaysia (FRIM, フリム)へ。

朝はロティチャナイとテータレです。
この組み合わせはマレーシアでは定番中の定番。最高です。



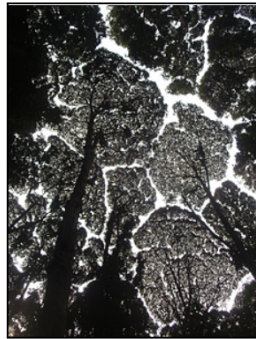
通勤ターという電車でケボンまで行き、そこからタクシー。

木の上数十メートルにあるキャンピョークという橋がこの目玉なのですが
ちょうどこの日が月曜日で
残念。 休み。



中はうっそうとしたジャングルです。



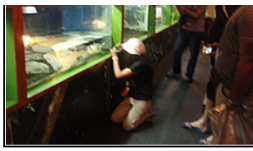


やたら大きい枯れ葉で蚊をふせぎつつ、
それでもしぶとく刺され続けながらジャングルをうろうろしていました。

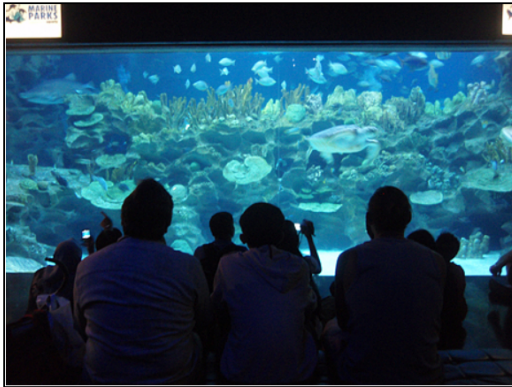


水族館へ。
これも3年前に紺野くんらといったトコです。
小さいサメやヒトデに触れたり
エサタイムがあったり地味に楽しませてくれました。





大きな水槽があります。



このエイですか、かれらは？
裏が見たいになってるので不思議ではありません。
いったいあれは何？？　ロです。
あの明らかに口っぽいトコでむしゃむしゃ魚を食べてました。
彼らは自身の裏が顔みたく、むしろ顔になっている事に
気づいているのでしょうか。
水槽の中で泳いでいるだけなのに
なにか恥ずかしいものを見せられているみたいです。





ウォンさんともお別れ。
 近くのダックが美味しいお店へ。
 写真を撮るときゃ、そりゃ
 サトゥ・マレーシア。

ウォンさん今年もいろいろありがとうございました。



足跡帳を書く高橋さん、藤原くん。



入り口の前でも
 サトゥ・マレーシア！
 藤原くんよ、こりゃ日本帰っても思わずこのかけ声しちゃうんじゃないの。





KLIAで出発時間を持つ藤原くん、高橋さん。

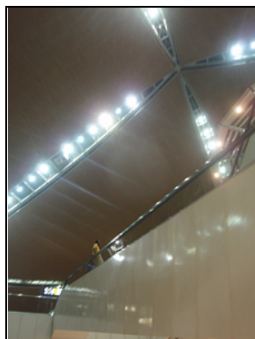
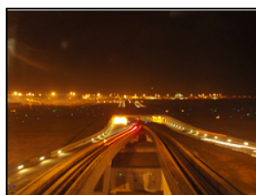




そしてどうもお別れです。
 藤原くんとは一番長く共に暮らした仲となりました。
 感極まってくずくずする彼。
 ほんとうに、ありがとうございました。と言ってくれました。
 いやいや、藤原くん。
 こっちこそ楽しかった、ありがとう。



4期生たちが5月に来て、9月までずっとひとり暮らしじゃない感じでした。
 それだけ楽しかったからなんだと思います。
 ありがとうフィールドワーク4期生。
 もうほんとうに、帰国ですが最後まで気をつけて
 楽しんで日本に帰ってください。
 日本に帰ってからも元気で。



ホントにありがとう、出会えて良かった。
 また会えるのを楽しみにしています。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.09.17 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2009年09月 アーカイブ

マレーシア 19 - 1

さあさあ、4期生のフリー期間もほぼ終了。

藤原くんはもちろんこのP1施設にいて
 山本さん志村くんは直接釜山へ行くので
 ここへは戻って来ません。
 インドから高橋さんが早期マレーシアへ戻ってくるので
 空港まで向かえに行く事を告げず
 藤原くんともにもっと早朝に出発。



しかし、彼は環坊。さらに頼んでいたタクシーも来てない。
 ドライバーさんは8時半だと思っていればいいです。
 しかし電話して超こしたら、すぐに来てくれ空港へ。



せっかくなので、マレーグッズを持って行って
旅行会社風に《高橋》の画用紙も。
藤原くんが隣にいたマレーシアインディアンの女性たちと楽しく
英語学校の経験を生かし喋っていました。
なんなら、この人たちにも「タカハン」言ってもらおう。
ということで、本人にしてみればよく分からない
サプライズな迎え方をしました。

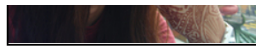
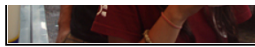


記念に一枚はもちろん
「サトゥー！ マレーシア！！」です。
これ日本でも使っていますよ。

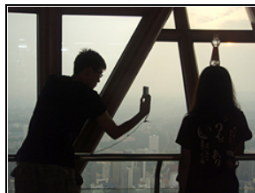


そして、インドからの移動で疲れているであろう
高橋さんと藤原くんと3人でKL観光へ。
藤原くんはさすが学校行っていただけあって
KLの街を少し知っていました。
あ、気づけば高橋さんの手には何やらインドっぽいやつが。
メンディと言うものらしいです。



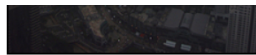
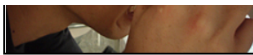


記憶が正しければ3年前に自分がFWした時に、このKLタワーに登ったので久しぶりにKLを上から見ただけで行きました。あいにくこの日は曇り。遠くまでもやのようなものがかかっていてハッキリ見えなかったです。

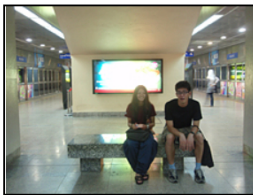
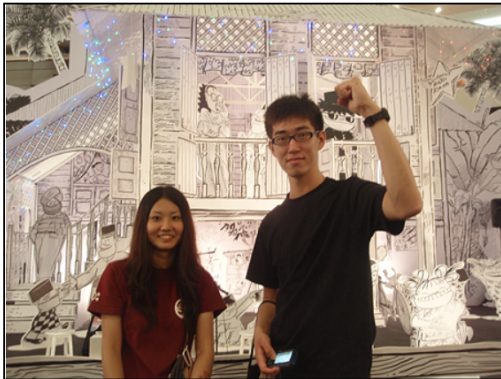


景色が綺麗に見えなからうがそこはフィールドワーカーです。望遠鏡を使ってハントしてました。

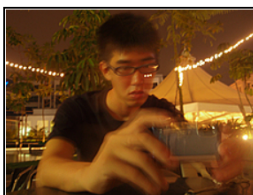




ここでも、サトゥ・マレーシア！



このKISSATENへも学生は最後のなので人で行きました。
一人だと絶対に行かないので、自分もしばらく行かないでしょう。
店員さんたちもさすがに見えていました。



寂しくなりますねえ。



post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.09.17 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2009年09月 アーカイブ

マレーシア 18

藤原さんと約2週半の共同生活でした。

男二人になったので、自然するのもなんなので
 外食ばかりしていたら胃腸の調子がおかしくなった時がありました。
 しかし、そんな時はバイヤです。
 藤原くんにも騙されたと思って食べてみ。
 と行って、食べさせた次の朝。
 あら不思議。
 なんと胃腸の調子が良くなっているではありませんか。
 以前一人でバイヤを食べた時にこの効果を発見しまして
 どうやらバイヤには胃腸の機能を回復する作用があるみたいです。



前のブログに2期生の藤原さんが登場しましたが
 今回は1期生の山市くんがこの施設を訪れました。

「撮影したフィルムがカメラの中でキレてるかもしれないから
 暗室に入らして。」

と言って、軽快に入っていたのですが
 山市くんはなんと運の良い男なのでしょうか。
 前に自分がもう一つのドアに閉じ込められたように
 山市くんも閉じ込められました。
 だして〜、どーなってんのー。
 ちょっと待ってて。等等

幸い、今回は外に人がいたのですぐに開きました。
 今回もドアのノブらへんがイカれていたので。

そしてウォンさんと、もちろん藤原くんも一緒に夕食。



山市も元気だね、また会おう。



最近はラマダンの期間なのでマスジット・ジャメという駅の近くのマレー系服屋さんが軒を連ねる通りにいろいろと店が出ています。花屋さん。しかし全部カラフルな造花です。そりゃ、マレーシアの暑い気候で花はキツイでしょう。



他には、マレー系の服屋がものすごくたくさん出ています。ラマダン明けのハリラヤというパーティーの為にみんな新しい服を買いやすいです。女性用の服のほうがやはり多いですが男性用の服ももちろん、一式全部揃えられます。もちろん子供服も。とにかくこの時期、この通りは人でいっぱいです。





今行ってる英語学校のブリティッシュ・カウンシルでも記念写真を撮りました。
 イラン、イエメン、スーダン、リビア、イラク、カザフスタン、インドネシア、カンボジアと先生が南アと英国、そして自分の日本です。
 相変わらず多国籍で楽しくやっています。
 何が良くて、一番はその国の若者からその国はどういう感じで、日本で見たニュースや情報について彼ら自身はどうなのか。
 こんな事を聞くのがやたら楽しいです。



ボトラジャヤというKLから少し行ったところにある行政やらが集まった新都市です。
 ここにパスポートの関係で行きました。
 3回目ですが相変わらず広いしデカイです。

イミグレーションは外国人でいっぱい。
 なんやかんやして3・4時間待ちでしたがその間、たまたま前に座っていたイラクの家族と話したり子供と遊んだりしていたので楽しかったです。
 最近こうイラクの人と知り合っ
 あれ？ イラク行けんじゃね（北部コルディッシュ限定）と思っています。
 ので、すかさずメールアドレスをもらっときました。





ブトラジャヤにもラマダン中なのでたくさんお店が出ています。
 全て食べ物なので、この街で働いている人たちが
 仕事の後に買って帰るようです。
 もちろんラマダン中なので日が落ちるまで食べられません。
 そのため、このお店たちも夕方からです。
 自分も買ったのですがそりゃ食べます。
 ひっそりとした道に行って、さりげなくほおぼりました。



左はフルーツを売っていて、右はジュースを売っています。
 KLの街中でもこういうかんじです。
 日本人は少し躊躇してしまうかな色のジュースたちですが
 好きなものもいくつかありますので、よく買って飲んでいます。
 でも、一番好きなのは豆乳ですが。





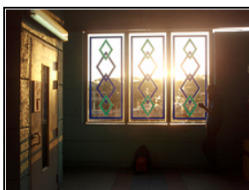
夜、藤原くんが何をしているのかと思えば深夜3時
英語学校の作文の宿題をしているではありませんか。
どうやら自ら先生に言って、宿題をもらってきたらしいです。地味にえらい。
なつかしいのでちょっと横から口出ししながら見ていました。
が、やはり彼はまだ未熟者。
藤原くんよ、これを機に英語がますます上達するといいな。



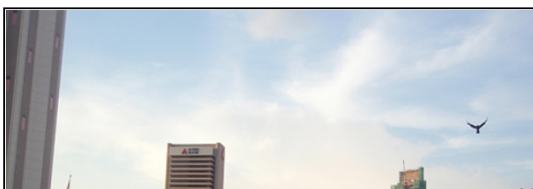
KLサンセット。



以外に夕方になると曇りの多いKL。
よくこの時間は雨が降ったり、どんよりだったりします。
夕日が見れる日は思ったより少ないです。



自分の英語学校が終わる時間がこの時間帯なので
夕日が出てくれるとちょっとうれしくなって、
そんな日はそれだけで良い日になります。





たまに藤原さんと一緒に自炊をしました。
簡単に作れるのがほとんどですが
カレーやハヤシライス、鍋っぼいのとか。
それにしても藤原くん、毎回よく食べますね〜。
この時もハヤシライスを食べ続けていました。
デカイだけあるな。



post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.09.17 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

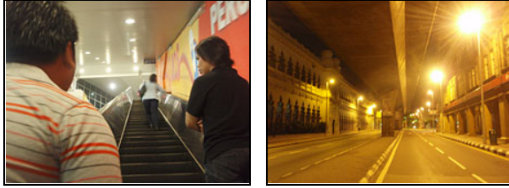
Merdeka 52nd - 2

8月31日はマレーシア52回目の独立記念日 Merdeka(メルデカ)でした。
 去年はパレードの時間が分からなくて
 昼に行ったらすでに終わっていました。
 が、今年はウォンさんにも聞いてバッチリ行けました。

[藤原くんのブログも一緒にどうぞ。](#)

パレードはマスジット・ジャメという駅から
 少し歩いていったところにある国会議事堂の前で朝の8時から。
 去年はメルデカスクエアという広いグラウンドの前でパレードを行ったのですが
 今年は新型インフルエンザを気にして、規模を縮小したらしいです。

藤原さんと共にまだ空が暗い時間に出発。



国会議事堂までの一本道を進んで行くと
 少年少女やらたくさん人が、ずらーと並んで旗を持って降っています。
 ある少女に聞いたところによると、彼らはある学校の生徒らしいです。
 詳しくはよく聞き取れませんでした。
 列の最後尾のところにマレーシアの民族衣装を着た人たちがいたので
 さっそく一枚目の記念写真。



一般の人は国会議事堂の中へ入れないらしく
 偉い人たちが続々と中へ入って行きます。
 そここうしているうちに朝が始まり、どんどん明るくなってきました。

サットゥ・マレイシア！ サットゥ・マレイシア！
 と言っている歌が繰り返し聞こえてきます。
 サットゥはマレー語で 1 の意味です。
 藤原くんのブログにもあったように
 マレー系、中華系、インド系の多民族国家を一つに！
 という意味が込められていて、
 KLの街のあちこちにも、1 Malaysia が書いてあります。





しばらくすると、車の通りがなくなり
どうやら今年の独立記念日の式典が始まったようです。

自分と藤原くんの二人は
この少年少女がずらーーーーと並んだ道を戻って行きます。
が、やたらじろじろと見られ
気づいたら藤原くんは記念写真を撮り始めて
何やら喋ってて
得意のナチュラルコミュニケーションをしています。

おいおい。とりあえず端っこまで戻るよ。

と言っても、両側から扶まれ彼らにすごい見られ
視線をやたら感じ
さらに、どこからともなく

コンニチワ！ コンニチワ！

アリガト！ アリガトゴザイマス！ アリガト！

と聞こえてきて、もうそれで目が合わないわけありません。

マレー語のこんにちはの セラマツ・バギ を言って
せっかくなので記念写真を1枚。

メルヂカ・テイなので
サトゥー と言って マレーシア！ でシャッター。

それか
サトゥ、ドゥア、ティガー！（マレー語の1・2・3）で撮ります。

撮ってくれたら マレー語のありがとう
テリマカシを忘れずに。

セラマツ・バギ
少し進んで、また1枚。 テリマカシ
また進んで、もう1枚。 テリマカシ

この道を片道戻るだけで
いったい何回記念写真を撮ったのでしょうか。 テリマカシ。





日本人二人が何回も
「サトゥー・マレーシア！」と言って彼らと記念写真を撮っていると
そりゃあ、目立つし覚えられます。

やっぱり、コンニチハ！ アリガトゴザイマス！の連発。
お辞儀をしながら
何回も記念写真を撮りながら
セラマッ・バギ と テリマカシと言って進んで行くので
もうこりゃ、いったい誰がバリードしてるんだ
っても思わず思ってしまった。
しまいには、彼らから
写真を一緒に撮ってくれ！
おれらと撮ろう！
と言ってきてくれました。。

すると、どこからともなく聞こえてくる放送
おそらく式典からでしょう。

「メルデカ！ メルデカ！」

「サトゥ！」 「マレーシア！」と数度みんな言っていました。

もちろん自分も、藤原くんも一緒に
「メルデカ！」 「サトゥ！」 「マレーシア！」

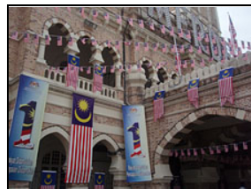




式典が終わり
誰か分かりませんが、絶対に偉いであろう方々が帰って行きます。
そこで、盛り上がっている藤原くんは
誰かからいつの間にかもらったマレーシアの小旗を持って
偉い方と タッチや記念撮影 していました。



どうやらパレードも式典も終わったようで
少年少女たちがどこかへ戻って行きますので
自分ら二人も帰ることに。
が、やはりもう完全に酔いを覚えているようで
最後の最後まで記念写真を撮り続け
最後は二人とも、彼らが持つ旗と
赤い サトゥ・マレーシア帽子をもらってしまいました。
おそらく藤原くんは、その帽子をかぶって日本へ帰国して行くでしょう。





一段落して、昼ご飯を食べていた時
ある事に気づいてしまいました。
藤原くんの記念写真はたくさん撮ったのですが
自分含めの記念写真をすっかり忘れてました！

でも
最高に楽しい独立記念日でした。 テリマカシ。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.09.04 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ: